

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

第161号

令和4年10月発行

## CONTENTS

- 地区支部だより …………… 2～3
- 私の病院の災害対策  
「災害訓練の様子」  
(トピックス 2022) …… 4～5
- 地域連携のコーナー …………… 6
- 私の“Happy Time” …………… 6
- 訪問看護ステーションだより …… 7
- 医療安全数珠つなぎ …………… 7
- リレーエッセイ 友達の輪 …… 7
- 潜在看護職員復職支援研修について …… 8
- 施設だより …………… 9
- プレゼント …………… 9
- 助産師職能委員会だより ……10
- <和歌山県看護協会の動き>
- コロナウイルス感染症対応看護職員研修 ……11
- 令和4年度第1回施設代表者会 ……12
- 令和4年度  
保健師助産師看護師職能合同研修会 ……12
- 令和4年度  
新人看護職員オリエンテーション ……12
- 理事会報告 ……………12



桜ヶ丘病院 ▶ <施設だより> (9ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

### 和歌山県看護協会会員数

令和4年10月3日現在 登録者数

|      |        |
|------|--------|
| 会員総数 | 6,318名 |
| 名誉会員 | 2名     |
| 保健師  | 146名   |
| 助産師  | 222名   |
| 看護師  | 5,837名 |
| 准看護師 | 111名   |

# 地区支部だより



## 伊都地区支部

支部長 西 未知子

昨年度の感染管理マネージャー養成研修の様子と「すこやかまなびの日」の様子です。地域で感染に強くなれるように、感染対策を中心に活動しております。



## 那賀地区支部

支部長 稲垣 伊津穂

『まちの保健室』：

岩出市のスーパーにて健康チェックと啓発活動の実施。

『支部集会・研修会』：

新型コロナウイルスにおける地域連携に関する研修会を開催。今後は感染拡大状況を見ながら、10月老年月間事業においては青洲まつりが開催されれば啓発活動、11月研修会はまだ未定ですが、コロナ禍での地域のつながりについて講演を予定としています。役員と力を合わせて支部活動に取り組んで参ります。



## 和歌山地区支部

支部長 芝瀧 ひろみ

看護の日事業は、令和4年5月7日(土)メッサオークワガーデンパーク和歌山店にて「日々の看護師たち」と題した写真展示を行うとともに看護の日記念グッズを300個配布し、看護の仕事や看護の日をアピールしました。

第1回研修会は、令和4年6月4日(土)日本赤十字社和歌山医療センターの芝田里花先生による「災害看護～災害時、患者と医療者自身を守るために準備しておくこと～」を開催しました。看護職だけでなく介護職や看護補助者合わせて94名が参加し、大変好評でした。



## 海南・海草地区支部

支部長 清水 多津子

令和4年6月18日(土)地区支部研修会を行い、東京医療保健大学、近藤純子先生に「ポジティブな力、レジリエンスの高め方」というテーマで講演をしていただきました。研修会是对面とリモートで行い、計106名の参加でした。アンケートより、声が聞き取りにくいという課題は残りましたが、研修内容に関しては高評価で、「レジリエンスを高めるための方法がわかった」等、レジリエンスについて知識を深める機会となりました。



## 有田地区支部

支部長 御前 有美

7月16日(土)有田地区支部集会及び研修会を開催しました。

『認知症看護～患者さんに寄り添うケアを目指して～』をテーマに認知症看護認定看護師の川口恵子先生に講演していただき、会場と6施設で60名の参加がありました。

研修をとおして『認知症患者さんへの日々の関わりを見つめ直すきっかけとなった』との意見が聞かれ、『よく見る光景』としてケース別の対応策についての講義もあり有意義な研修会となりました。



## 日高地区支部

支部長 小松 香世美

7月16日(土)令和4年度地区支部報告会ならびに研修会を開催しました。研修会は「現場で活かせるスキンケア」と題して、黎明会北出病院 皮膚排泄ケア認定看護師の原代 由香里先生にご講演いただき、37名の参加がありました。コロナ禍の中、感染予防対策を十分に考慮したうえで開催できたことは大変うれしく思います。参加者は、日々の洗浄やスキンケアの重要性を再認識する機会となり、好評でした。今回は、対面での研修会を開催することが出来ましたが、感染状況により、ハイブリット形式の研修会も検討していくことが課題であると痛感しました。



## 田辺地区支部

支部長 谷本 あけみ

7月2日(土)地区支部報告会と第1回研修会をWEB開催し、47名の参加がありました。研修会では、「心のケアの大切さ」と題して、緩和ケア認定看護師の越本世津氏にご講演をいただきました。

実際の関わり事例から、患者や家族に対して心のケアの大切さ、不安を引き出せるような話作りに努めること。支援者のこころのケアは、頑張り過ぎない、自分の時間を持つこと、自分に優しく、気分転換を大切にしてくださいと講演いただきました。



## 新宮・串本地区支部

支部長 栗原 久美子

新型コロナウイルス感染症に悩まされる日々が続いておりますが、新宮・串本地区支部では、令和4年第1回研修会として、8月6日にWeb研修を開催しました。テーマは「多職種による新宮東牟婁圏域における嚥下調整食早見表作成から嚥下調整ハンドブック完成まで」として、特定行為研修修了者を講師に招いて行いました。

厳しい状況下ではありますが、地区支部の活動を通して各施設の連携を深め、地域の看護の質向上を目指していきます。



# 私の病院の災害対策



災害診療部門 登院登録



災害対策本部立ち上げ



災害対策本部会議



災害診療部門 被災患者の受け入れ



災害診療部門 各ゾーンの活動状況の把握

## 災害訓練の様子

紀南病院 中央手術部 看護師長 藤原 勝志

当院は災害拠点病院としての役割を果たすために、毎年院内災害対策マニュアルとBCPに基づいたシナリオを作成し、災害訓練を実施しています。訓練後に問題があれば検証し、必要に応じて災害対策マニュアルを改訂し、次年度の災害訓練に反映させています。また看護部では小委員会を設置して、看護部に特化した災害初期の行動指針を作成し、災害発生時の対応力が向上するように取り組んでいます。しかし実災害に近い状況を想定した訓練をしていても、予期せぬ災害に順応することは簡単ではないと思います。

昨年7月の平日日勤帯に、大型台風の影響により当院に停電が発生しました。本来なら遅くとも10秒以内に商用電源から自家発電に切り替わりますが、いつまで待っても停電が復旧せず、またこの現状を周知するための院内放送も使えませんでした。総務課と中央監視室で原因究明にあたり、近隣施設の状況を確認したところ、当院だけが電力復旧していない状況であるとわかりました。停電が復旧しない原因は商用電源から自家発電に切り替わらないことだと判明しました。この停電により院内の各部署で起きた問題と対応を一部紹介させていただきます。

一般病棟ではセンサーマットの電源が切れたため、転倒転落リスクのある患者にはスタッフが頻りに訪室して観察する状況になりました。中央配管の吸引が停止したため、必要な患者には移動式ポータブル吸引機を順繰りに使用する、余っている部署から借りて使用することで対応しました。シリンジポンプはバッテリーが30分ほど切れたため、投与中のポンプは予備と交換して対応、不急の場合は主治医と相談し小児輸液ルートに交換し自然滴下で実施しました。人工呼吸器は日常から無停電電源装置に接続していましたが稼働時間に制限があるため、医師が可能な範囲で用手換気を実施しました。

産婦人科病棟では当時2名の妊婦が出産を控えており、電力復旧の見通しがつかないことから他院へ搬送しました。湯沸かしポットは停止していたのでミルクが作れず、栄養課に災害用ミルクを受け取りに行き哺乳しました。

血液浄化センターでは、セントラルROの電源が落ちたため透析液の安定供給ができず、実施中の患者全員の透析モードをECUMモードに変更し順次回収終了しました。

中央手術部では、すべての電源は無停電電源装置に接続されており医療機器は瞬時に作動しましたが、復旧の見通しがつかないため手術室部長と執刀医が相談して、気管挿管直後の患者は覚醒させて抜管する、閉腹前の手術は安全確認後すみやかに終了する、局所麻

酔後で手術開始前の患者はバイタルサイン安定後に帰室する、入室前の手術予定症例はすべて中止するなどの対応を取りました。

一般外来部門では、医事課会計課のシステムダウンにより受付・会計等が停止し、再来受付機に患者が行列を作り、各ブロックの受付に多くの患者が問い合わせに來られました。医事課職員は外来診療の継続中止の方針が分からず、患者対応に苦慮するなど、各部署で多くの問題が起こりその対応に追われました。

この実態を重んじて、同年に院内災害対策マニュアルを改訂し、新たに停電時の初動対応と情報伝達手段を明記した院内災害対策マニュアルに更新しました。そして今年5月には自家発電機を1台から2台に増設、各部署に災害時用のバッテリーを配備し、自家発電機切り替え異常にも対応できる体制を整備しました。今後は、これらのことを踏まえ予め災害が起きても、診療機能の維持、早期回復できるように、実災害を想定した院内災害訓練を実施する予定です。

そのほか当院では消防法に則り、年2回の消防訓練を実施しています。実際に消火器や消火栓・消火ポンプを使用した消火訓練、エアーストレッチャーを使用した避難訓練、多種多様な患者を想定した避難誘導机上訓練、地域の消防署と連携した通報訓練を行っています。「看護部では災害・防災の知識を深める、発災時の対応力を身につけること」を目的に、防火・防災対策小委員会を設置しています。活動内容は、マニュアルの整備や研修の実施、避難経路の整理整頓や危険個所の補強対策、患者の安全を確保するための啓発活動、非常持ち出し物品の整備点検などを実施しています。



災害対策本部のクロノロジー



災害対策本部への被害報告



消火器を使用した消火訓練



消火栓ホースの取り扱い説明



エアーストレッチャーを使用した  
避難訓練

以上、当院の災害対策の一部を簡単にご紹介させていただきましたが、言うまでもなく災害医療の目的は、限られた人的・物的資源を有効に活用して、一人でも多くの命を救うこと、災害時といえども防ぎ得る災害死（Preventable Death）を防ぐことです。今後の課題は、予期せぬ災害に即応し、地域の災害拠点病院として、災害時の病院の人命、資産の保全と診療の継続の役割を果たすことが必要です。当院医療圏が海面や河川と隣接している地域が多いことから、津波や河川氾濫などの水害を具体的に想定した実災害訓練を、他施設や消防、役所、地域住民と連携し実施することが必要です。

## 社会医療法人 和歌山つくし会 つくし医療・福祉センター 地域連携課

看護師 木村 晴美

つくし医療・福祉センターは県内に4か所ある重症心身障害児(者)の入所施設の1つです。136床の入所病床と12床のショートステイを併設しています。

近年、在宅で過ごす医療的ケア児や発達障害児が増加する中で、発達障害に関する相談や医療的ケアに関する家庭での困りごと等をトータル的にサポートする部署が必要ではないかということで、今年度より地域連携課が設置されました。

地域連携課には、地域連携課長を含む相談支援専門員が3名、医療クラークが1名、看護師1名が配置されています。地域連携課の主な役割をまとめると、

- ① 当センターの外来診療、診断、リハビリ、心理治療、発達診断などに関する相談窓口
- ② 療育手帳、身障手帳、障害者年金等の診断書を取得するための相談窓口
- ③ 行政(福祉、保健)や教育機関との連携、調整
- ④ サービス利用計画案の作成やモニタリングによる継続サービスの見直し
- ⑤ 医療的ケアや障がいのある方、家族での困りごとに対する相談(訪問看護・介護の利用等)
- ⑥ 入所希望、ショートステイ利用希望等に関する相談
- ⑦ 他病院へ受診及び入退院時の調整。(医療備品の調整など) 等です。

当センターの入所者は本人・ご両親の高齢化に伴って施設が終の棲家になる方が多く、一般病院のように頻繁な入退院調整はありません。しかし、乳幼児等は他病院から在宅に戻るワンステップとして、一旦当センターで受け入れる場合があります。現在も、在宅に戻って頂けるように、病棟スタッフを中心に他部門と地域連携課が協力して支援を進めています。今年度からスタートしたばかりで、まだまだ右往左往していますが、今後も利用者一人ひとりの状況に合わせた支援ができるように他部門や関連施設との連携を深めていきたいと考えています。



## 私の “Happy Time”

新宮市立医療センター 二河 良成

私の今の趣味は、金魚を飼育することです。幼いころから実家で飼っていました。

昨春、小さな水槽で徐々に飼い始めました。少しコロナ禍が落ち着いた時に自分でろ過システムを作り、大きな水槽で飼うことになりました。コロナ禍で緊張感が持続する中、何も考えずに週末ボーッと眺める時間が好きです。

家族には、水替えの時間が長く余計に時間がなくなったんじゃないかと言われていますが、それでも私にとって癒しの時間です。

次回は、紀州リハビリケア訪問看護ステーション  
太田 岳志 様の “Happy Time” です。





訪問看護  
ステーション  
だより

## あうる訪問看護ステーション

管理者 有本 大

こんにちは、あうる訪問看護ステーションです。  
「あうる」とは鳥類のふくろうのことです。

ふくろうは古来より世界中で幸福の鳥と言われ、日本では「福老」「福郎」「不苦労」などと書かれ縁起の良い鳥とされています。また「森の鎮守」とも言われ、渡り鳥とは違いひとつの周辺地域に住むことが生態の特色でもあります。当事業所も地元有田地域に根付いた事業所でありたいと考えこの名前にしました。

当事業所は令和2年5月「利用者様が慣れ親しんだ地域で安心して自分らしく暮らせる」を理念とし、居宅介護支援事業所を併設し運営を開始しました。この2年間は0歳～104歳までの幅広い年齢の方を対象に高齢の要介護者、特定疾患、小児疾患、認知症を含む精神疾患、さらに終末期にある方など多くの利用者様と良きご縁をいただいております。

今後も「利用者ファースト」「スタッフのプロ意識向上」を念頭に置き、地域の皆様が安心して在宅療養を続けられるよう努力し続けたいと思います。



## 橋本市民病院

医療安全管理室

近藤 史子

## 医療安全数珠つなぎ

専従の医療安全管理者として4年目となりました。

毎日の現場ラウンドでアクシデントに繋がりそうな場面をタイムリーに指導し、未然に防ぐよう努めています。また、起こった事例に対しては現場の医療安全カンファレンスに参加し、職員と共に振り返りを行っています。

定期的に「医療安全ニュース」の発行などを行い、安全意識の向上に努めています。

今後も患者及び職員の安全のために医療安全活動に取り組んでまいりたいと思います。

次回号に紹介させていただく方は、公立那賀病院 西 あずさ 様です。

リレーエッセイ

## 友達の輪

Vol.71

那智勝浦町立温泉病院

坂井 多恵子

最近、体力作りと健康のために歩き始めました。太陽の光を浴びて、気持ちの良い汗を流すことがとても楽しい。友人と探索した新宮市の「桑ノ木の滝」、息子と見た古座川町滝の拝の「ボウズハゼ」、そして熊野川の川原でほおばったおにぎりの美味しかったこと！

今更ながら自分の生まれ育った紀南の美しさに気づ



きました。今後も、この地域のまだ知らない箇所を歩き見て、たくさんの魅力を発見したいと思っています。

今回は、日本赤十字社和歌山医療センター 室 圭子 様をご紹介します。

# 潜在看護職員復職支援研修について



和歌山県ナースセンター 湯上 ひとみ

看護職の資格を持ちながら、就業したいけれど最新の医療・看護への戸惑いや、看護技術に不安を持っている方を対象に、座学や技術演習などの研修と、病院や訪問看護ステーションのご協力による臨地実習を行っています。

6月に参加された方からは、長い離職期間のため不安だったものの、病院実習の経験を機に、自分のできる範囲で職場復帰できればいい。また講師から看護現場での話も聞くことができ、再就職するのにイメージが沸き選択肢が増えたなどの感想をいただきました。

次回は10月18日（火）～25日（火）看護研修センターの研修と実習施設での臨地実習を予定しています。

東洋羽毛

## 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

### 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

### 《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

\*他、施設内研修などご相談承ります  
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに關しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。  
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



0120-32-7766

# 施設だより

## 桜ヶ丘病院

総看護師長 兼 副院長  
濱 真理子



当院は昭和12年に女医 成川千代子が、有田市箕島町に「成川医院」を開設してから、創立85年の歴史をもつ医療機関です。現会長 成川守彦が昭和58年宮崎町に「桜ヶ丘病院」を開設し、その後、現理事長 成川暢彦が、平成27年6月箕島駅前に移転し、現在に至っています。病床数は99床、医療療養病床(50床)と特殊新患病床(49床)を有しています。外来は一般内科を中心に、腎臓内科・人工透析・脳神経内科・循環器科・皮膚科など専門外来も行っており、入院は慢性期医療を中心に地域の方々の力になれるように努力しています。

直近のトピックスは、オンライン診察を開始したことです。仕事の都合で病院に足を運ぶことができない方やコロナ禍で外出することを控えている方など、それぞれの生活リズムに合わせて対応させていただいています。

病院は、箕島駅前近くで地域の中心部に位置することもあり、地域の方々に気軽に利用していただく機会を設けています。年一回の「桜フェスタ」に始

まり、「さくら喫茶」という認知症カフェ、腎臓病に関する知識を得ていただくために「健康教室」を、それぞれ2か月に一度行っています。「さくら喫茶」は医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・事務員が協力し、認知症予防体操や、季節に合わせた創作を行い楽しいときを過ごしてもらっています。「健康教室」では、腎臓病の予防や早期に治療してもらえようそれぞれの職種の立場から伝えさせてもらっています。

また、入院生活では療養病棟、特殊疾患病棟の特徴として長期入院されている方も多く、作業療法士が中心となり集団療法を行い、お絵かき、書道、折り紙など色々なことに取り組んでいます。季節のイベントには栄養科が手作りのおやつを考案し提供、患者に非常に喜ばれています。

これからも有田地域の医療に少しでも貢献できるよう職員全員で力を合わせ、取り組んでいきたいと考えています。

第43回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、11月10日(木)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ) 抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「10月号プレゼント」係



「足まくら」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ  
当たります!

QRコードからも応募できます▶



プレゼント  
応募者の  
声

- 多くの方がナースとして働いていることを実感できる機会(場)と思っています。
- 以前お世話になった部長さんと、現在お世話になっている部長さんが並んでいるのを見て気の引き締まる思いがしました。協会長表彰を受表彰された方々の「抱負・モットー、後輩に伝えたい一言」を大切に、日々学びを深めていこうと思います。

## ～「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けて～

産科混合病棟が増加し、地域機能も弱体化するに従って、妊産婦へのケアや子育て支援が不十分にならざるをえない状況もあることから、妊娠・分娩・産褥期のケアの連続性、子育て期の支援を行う場の確保、ケアの機能を強化する対策が必要だと言われています。そこで、場が異なり、限られた人的資源でケアをつないでいく難しさを解決する新たなケア提供体制を創造し、日本看護協会より提案されたのが「母子のための地域包括ケア病棟」です。

「母子のための地域包括ケア病棟」とは、「助産師をはじめとする看護職が妊産婦と新生児に集中してケアができる体制が整備され、妊娠・出産・子育て期において切れ目なく継続したケアが提供できる場と機能をもつ病棟」をいいます。

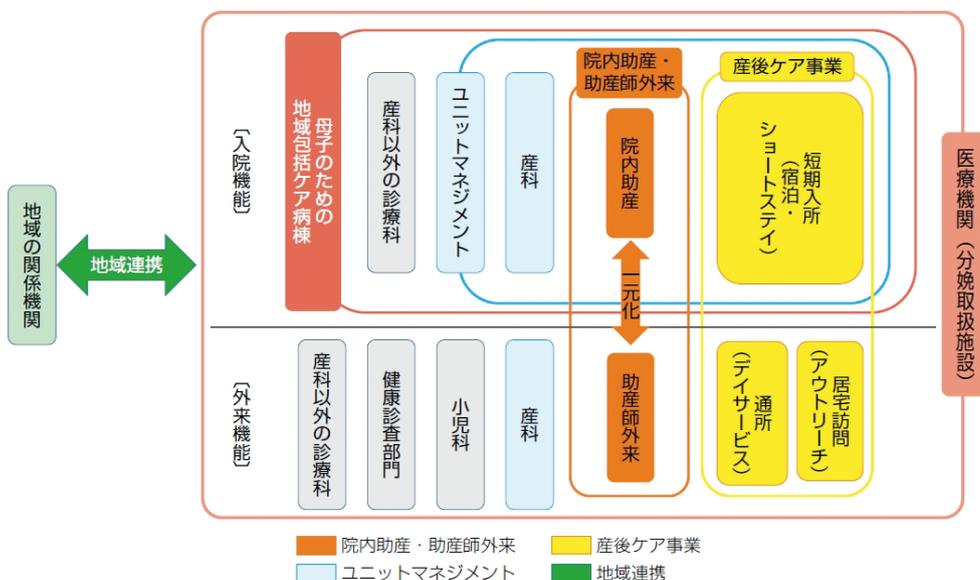


図2 「母子のための地域包括ケア病棟」における「4つの機能」のイメージ図

引用：「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引き

### 【安全・安心な出産、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援ができる「4つの機能」】

- ① **院内助産・助産師外来** 助産師が助産業務に専念することで妊娠期から子育て期における切れ目のないケア・支援を提供する機能
- ② **医療機関における産後ケア事業** 助産師をはじめとする看護職が中心となり、母子に対して心身の安定を促進するとともに、母子の愛着形成を促し、健やかな育児ができるよう支援する機能
- ③ **産科関連病棟におけるユニットマネジメント** 産科区域特定を行い、安全・安心な出産環境の整備を行うために、看護師と役割分担した上で、助産師が妊産婦に集中してケアを行う機能
- ④ **地域連携** 子育て世代包括支援センターなどとの必要な連絡調整、母子保健や福祉に関する事業と連携する機能

今年度、和歌山県助産師職能委員会では、「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引きの周知・普及を推し進めるため、皆様との情報共有・連携に努めてまいります。



# 和歌山県看護協会の動き

## コロナウイルス感染症対応看護職員研修の開催について

**看護師等免許をお持ちの方を対象に**

色々な形式で新型コロナウイルス感染症対応看護職員研修を開催します。(受講料無料)  
お申し込みは看護協会ナースセンターまで  
(TEL 073-483-0234・073-483-1005)

### 1. 潜在看護職員等スキルアップ研修

対面研修。1, 2, 4 は Web 視聴も可

| 10月25日(火) |   | 目安時間 |
|-----------|---|------|
| 1         | 「医療・看護の動向」「看護倫理」                        | 30分  |
| 2         | 新型コロナウイルス感染症の最新知識と県内の動向                 | 90分  |
| 3         | 感染症の基礎知識と対応の実際<br>演習：個人防護服の着脱、ゾーニングについて | 120分 |
| 10月26日(水) |   |      |
| 4         | 急変時の対応                                  | 120分 |
| 5         | 演習：吸引、胃ろうカテーテルの管理                       | 120分 |

10/27 ライブ配信。以後 4 週間オンデマンド配信

### 2. 軽症～中等症患者対応研修(自宅療養者用)(訪問看護ステーション等)

| 10月27日(木) |  | 目安時間 |
|-----------|--|------|
|           | 和歌山県での医療提供体制の状況や対策                               | 10分  |
| 1         | 新型コロナウイルス感染症基本事項と治療のまとめ                          | 65分  |
| 2         | 新型コロナウイルス感染症自宅療養者への対応                            | 20分  |
| 3         | 重症化の判断ポイント、予兆への対応、家族指導、行政との連携、ICT を活用した全身管理の実践方法 | 120分 |
|           | 確認テスト・アンケート                                      |      |

10/1～1/31 オンデマンド配信

### 3. 軽症～中等症患者対応研修(一般病棟・入院待機施設用)(病院・施設等)

| 単元 / 主な内容 |   | 目安時間 |
|-----------|---|------|
|           | 和歌山県での医療提供体制の状況や対策  | 10分  |
| 1         | 新型コロナウイルス感染症の基礎知識   | 60分  |
| 2         | 新型コロナウイルス感染症患者の治療と観察のポイント                                       | 40分  |
| 3         | 新型コロナウイルス感染症患者の看護(緊急性の判断と急変対応、重症化予防、異常の早期発見、酸素療法、患者家族への精神的ケア含む) | 60分  |
| 4         | 新型コロナウイルス感染症の感染対策   | 30分  |
|           | 確認テスト 5 問   |      |

## 令和4年度 第1回施設代表者会を開催します

日時 ▶ 令和4年11月5日(土) 13:30～15:30

場所 ▶ 和歌山県看護協会看護研修センター

内容 ▶ 1. 看護協会の動向  
2. 講演「いきいき看護師を育てる看護管理者とは」

講師 大手前大学国際看護学部 客員教授 高橋 弘枝 先生  
(前 大阪府看護協会会長)

10月18日まで  
申し込み  
受付中



## 令和4年度 保健師助産師看護師職能合同研修会を開催しました

令和4年  
9月10日  
(土)

今年度の合同研修会は、午前は講演、午後はシンポジウムで1日の開催とし、ハイブリッド形式で行いました。参加者数は、67名(会場29名、web38名)。午前は、和歌山大学経済学部教授 金川めぐみ先生に「地域共生社会の実現に向けて」Part IIというテーマでご講演いただきました。午後は、「それぞれの職能領域が連携を進めるための具体的な活動について」～With コロナから学んだ地域住民への支援の在り方について～というテーマで、事例等も交えながらそれぞれの取り組みについて各領域から発表されました。フロアからの質問も交え、4領域職能の有意義な情報交換の場になりました。



## 令和4年度 新人看護職員 オリエンテーションを開催しました

令和4年  
9月27日  
(火)

今年度は、人数制限、感染対策をしながら3年ぶりに開催することができました。参加者数は85名。

「看護専門職能団体の組織と活動を理解し、協会員となる意義を知る。」  
「看護専門職としての責任と役割を理解する。」  
「新人看護職同士の交流を深める。」ことを目的に開催しています。

看護協会事業等について紹介した後、マインドフルネスインストラクター・心理カウンセラーの谷本由紀先生から、ストレス対処法の一つマインドフルネスについて体験講習を受けました。

参加者からは、「看護協会について理解できるよい機会であった」「ストレスを感じやすい自分にとって有意義な体験ができて良かった」「瞑想してみても気分転換になった」「想像していたよりも簡単にできることだったので日常に取り入れていこうと思った」などの感想がありました。ストレスフルな毎日をおくっている新人看護職員の皆様がセルフケアの方法の一つとして知っていただければと思います。

## 令和4年度 第3回理事会

日時：令和4年8月9日(火)  
13:30～15:00

場所：看護研修センター 大ホール

### I. 協議事項

1. 和歌山県看護協会旅費規程の改正について
2. その他

以上承認

### II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

